

Manager Comment



◆秋田浩一監督

「速攻で点数が入ったので、ああいう結果になったと思う。ボールは回されたが、最終ラインのところでCBの2人と笠井がきっちりできていたので、それは良かった。高さは大丈夫だと思っていたが、順大の選手は動き出しが速いので、動き出しにきちんとつければ、あとは(ボールの)出所に行って限定できれば、いい勝負ができるかなと思っていた。たまたま点が決められたので。(復帰の笠井が)試合に飢えていたのは事実。そういう意味では良かったが、次もやってくれるかというところ難しい。次もやってくれば良いが、今日は速攻がハマったのとFKが良かった。あれはあれでみんなが動き出して出たゴールだった。金久保から決まった2点目なんか、長いドリブルに山本がずっと付いていて裏に出たボールだし、長い距離を走ったゴールなので、2人で取った点数ではありま

すが、あれはあれで良かったと思う。どうしても湯澤の方がどンドンドリブルで中へ入っていくので、CBに金を置けるので、高さもあるしディフェンス力もある。今日は相手が3トップに3ハーフだったので、彼(碓井)がちょっと横に動けばフリーになれるというのは始まる前から言っていた。前を向いてプレーできたから、パスも出せたのだと思う。後ろを向いていると誰かわかさないといけない、誰が使わないといけない。前を向いてボールをもらえれば、ある程度捌ける。ああいうことを彼も学んだと思うので、次は4バック2ボランチのいる中でできるようになれば、もう少し良くなるんじゃないかと思う。(明治との差8だが)厳しいけれど、うちは勝っていくしかないで、それを続けるしかない!

◆山本 大貴

自分の切ったパスコースにはパスを出させないようにして、限定をしてチームの決められたことをやった。ハットトリックは大学で初めてなのでとても嬉しかった。一点目は、彩さん(金久保)がドリブルをしてスルーパスを丁寧にしてくれたので決めるだけだった。二点目は、てつ(碓井)がセンターリングを上げて、何も考えずにがむしゃらに飛び込んだら入った。三点目も、てつからいいパスが来たので思い切り蹴ったらしい感じに入ったのでよかった。(碓井は)パスが上手なので、動き出せば(パスを)出してくれるので決めるだけでいい。明治がどうなるかはわからないが、自分たちは一戦一戦勝っていくしかないで、次も頑張って勝ちたい。



◆碓井鉄平

(試合を振り返り)今日はたくさん点が取れて勝てて良かった。(3点目、4点目のアシストについて)3点目、4点目両方とも山本がフリーのポジションだったので、自分がいくよりもあいつに渡した方が確実にゴールを奪えると思った。あいつが先にゴール前に行ったので、後はクロスを上げるだけだった。(首位明治が引き分け、首位との差が縮まったが)これからも勝っていくしかないで、どンドン勝って行って、差を縮めていきたい。

なるだろう。5位中央がインカレを目指し追いかけてきているので筑波は油断できないだろう。筑波大の要注意人物は、強力2トップの瀬沼と赤崎だろう。現在得点ランクトップを走る赤崎は前期との戦いではまだ途中出場が出てきたが、今はもう前期よりも成長しており要注意だ。また瀬沼は、赤崎の横で常にゴールを狙っており、長身からのヘディングは脅威だ。前節警告をもらい、小澤が出場停止だが、森谷が出場停止から復帰、八反田などがおり攻撃陣はタレントが豊富だ。駒大はこの強力な攻撃陣を封じ込めひたすら首位の明治を追い、最終節で倒し、奇跡の逆転優勝を果たしたい。



◆主将 金正也

気持ち入れてやろうってのを言っていた。立ち上がりから相手も気が入っていたが、それに負けないでこっちもできたのが良かった。先制点を取るとこっちも安心じゃないが、自分達にもリズムが出てくるし、今日は早い時間に取れたのがよかった。(笠井が復帰したか?) まだまだ僕と林堂と笠井の連携がよくない場面があったが、それなりに跳ね返すとか跳ね返していたので、これから

もっと連携が良くなればいかなって。裏が競り合った後のセカンドボールを最近はずっと拾えてなかったが、裏が競り合った後を今日は山本が拾っていた。勝つしかないで勝つことだけを目指して、全員で気持ち込めて魂込めてやるしかないと思います。



◆林堂 眞

優勝するにもインカレ出るにも結局は負けれない。明大のことも気になるが、やっぱり勝つこと、とりあえず勝つということだけ。本当に。(累積警告についての不安は)無いと言ったら嘘になるが、3枚もらっている人が僕と、金ちゃんと、カメ君もいるし、湯澤もいる。とりあえず金ちゃんと僕と一緒に(出場停止に)なるのが一番やばいので、どっちかが(カードを)もらったら、もう一人は絶対もらわないようにしている。



◆酒井 隆介

笠井の脇のスペースを埋めること。個人としては、3トップだったので、それにしっかりと対応することを心がけた。いつもよりマークがはっきりしているのでもやりやすいと思っていた。勝っていることもあったが、失点しないことが大事なので、しっかり守備をすることを重視した。一番やられてはいけないことは一発で裏を取られることだったので、そこを一番意識して守った。可能性がある限りはチャレンジしたい。厳しいかもしれないが最後だし、可能性を信じて勝つしかない。

MATCH PREVIEW

VS 筑波 13:50KICK OFF @赤羽

前節の順大戦、先発メンバーに笠井が復帰し、守備が安定した駒大、「最終ラインのところでCBの2人と笠井がきっちりできていたので良かった。」と秋田浩一監督は語った。久々の出場の笠井も「総理大臣杯以来の出場だったので、使ってくれる監督やスタッフに感謝の気持ちと仲間のためにプレーをしました。」と復帰初戦に重要な役割を果たした。現在首位を迫る駒大は、勝ち点差8の2位となり今節を含め、残り3試合勝利が絶対条件となっている。また、明治も調子を落としているので、駒大逆転優勝の可能性はゼロではない。次節に国士館、最終節に明治を迎えているためモチベーションが高くして臨むことができる。

奇跡の逆転優勝を目指す駒大の今節の相手は、現在4位の筑波大学だ。前節明治大学との試合でスコアレスドローで終えて筑波の優勝がなくなってしまった。しかし、筑波にはインカレを懸けた試合に